

# しおかぜ

～第24号～

2017.12

## 基本理念

病める人とともに、和と向上心をもって、  
総合的かつ継続的な地域医療の実現をめざします。

## 基本方針

1. 垂水市の中核病院として病診連携を充実し、地域に必要な救急医療から在宅医療まで24時間体制で提供します。
2. 垂水市の地域包括ケアの拠点として、保健・医療・介護・福祉を連携し、住民が安心して住み続けられるまちづくりに貢献します。
3. 鹿児島へのき地医療を支援するとともに、感染症および災害発生時には地域の拠点病院としての役割を果たします。
4. 患者の人権とプライバシーを尊重し、多職種が連携した患者中心のチーム医療に努めます。
5. 職員ならびに地域の医療従事者の教育に努め、医療の質を高めるとともに、鹿児島の医療人育成に貢献します。
6. 病院を健全経営し、地域住民に安定した医療を継続的に提供できるように努力します。

## 【目次】～CONTENTS～

- ◇開設30周年記念式典・祝賀会・・・P1～P2
- ◇救急医療市民講座について・・・P3
- ◇2017年度総合防災訓練を実施しました  
・・・P4
- ◇医療安全推進週間について・・・P5
- ◇新任医師紹介・・・P5
- ◇ご存知ですか？病気の知識・・・P6
- ◇イベント～病院の話題～・・・P7

## 開設 30 周年記念式典・祝賀会

2017年6月18日、垂水ベイサイドホテルアザレアにて垂水市立医療センター垂水中央病院開設30周年、介護老人保健施設コスモス苑開設20周年記念式典・祝賀会が開催されました。今回の記念式典・祝賀会は、肝属郡医師会立訪問看護ステーション（2017年3月1日）と垂水市地域包括ケアセンター（2017年4月1日）の開設記念も兼ねて行われました。当日は、地域の医療・介護・福祉・行政の関係者の方々を中心に、多くの方をお招きして盛大に執り行うことができました。

記念式典で、尾脇市長（開設者）が「垂水中央病院は、昭和62年に高度な専門医療、救急医療を提供する、公設民営型の全国第1号の病院として開設され、開院と同時に社団法人肝属郡医師会に管理運営をお願いしました。また、平成9年に開設された介護老人保健施設も、同様に公設民営型の介護施設として、肝属郡医師会へ委託のうえ、平成18年度からは指定管理者として、これらの両施設の運営をお願いしております。この3月には、肝属郡医師会のご協力により、肝属郡医師会立訪問看護ステーションが開設され、市民の在宅医療の最前線としての機能を果たしていただき、4月からは、国が進める地域包括ケアシステム構築のために、コスモス苑の一画に、垂水市地域包括ケアセンターを設置し、地域の保健・医療・福祉の総合的な窓口機能を図っています。垂水市は、開設者として、両施設の更なる資質の向上と発展を願いますとともに、市民の健康を守る拠点として連携を強め、質の高い医療並びに介護サービスの提供と、今後更なる経営の安定を期待します」と挨拶。また、肝属郡医師会の池田会長（管理者）が「垂水中央病院、コスモス苑の両施設とも、肝属郡医師会や行政、介護・福祉関係施設などと緊密に連携し、長年に亘り垂水市の医療と高齢者の介護・福祉を支えてきました。今後も、垂水市民に質の高い医療・介護・福祉サービスを提供できるよう職員一丸となって取り組んでいきたい」と挨拶しました。

開設者と管理者の挨拶の後は、来賓を代表して、鹿児島県保健福祉部部長 藤本徳昭様（代理出席）、鹿児島県議会議員 堀之内芳平様、垂水中央病院2代目院長 中島洋明様の3名の方々から、祝辞を頂戴しました。記念式典後半の記念講演は、「これからの地域での医療・介護・福祉について」という演題で、鹿児島県保健福祉部次長 中俣和幸様にご講演を頂きました。

記念式典後の祝賀会では、当院の職員も参加した日本舞踊やたるみず飛龍太鼓保存会による太鼓の演奏が披露され、会場は大いに盛り上がりました。



●尾脇 雅弥（垂水市長）



●池田 誠（医師会長）



●竹中 俊宏  
（病院長）  
※病院の沿革  
について説明



●開設当初の垂水中央病院



●堀之内 芳平様（鹿児島県議会議員）



【記念講演】

●中俣 和幸様（鹿児島県保健福祉部次長）



●中島 洋明様  
（垂水中央病院 第2代目院長）

祝 賀 会



# 救急医療市民講座について

9月9日を救急の日と定め、この日を含む1週間を救急医療週間として全国各地でさまざまな行事が行われています。垂水市でも、9月9日（土）に垂水市市民館大ホールにおいて「救急医療市民講座」が開催され約120名の方が参加されました。講座の前半では、当院の毛利翔悟医師（内科）による「日常に潜む急病から身を守るには」という演題で医療講演が行われました。講演では、夏に多い熱中症と冬に多い血管疾患の症状や予防について説明しました。講演の最後には、「何かいつもと違う症状が現れた時は、無理をしないでなるべく早めに医療機関を受診して下さい」と呼びかけました。講演終了後は、垂水市消防本部職員による寸劇や心肺蘇生法及びAED取扱い指導、垂水市の保健師や垂水中央病院の看護師による健康相談、血圧測定も実施されました。



講師の毛利医師



医療講座の様子



- 左上／垂水市消防本部職員による寸劇
- 上／垂水中央病院の看護師による血圧測定
- 左／心肺蘇生法の実地指導

# 2017 年度総合防災訓練を実施しました

大規模災害の発生に対し職員が各種の災害対応について適切に行えるか、当院の防災対策の実効性について検証を行い、災害対応マニュアルについての不備・問題点の洗い出し及び改善を目的に 2017 年 11 月 18 日（土）に総合防災訓練を実施しました。今回で 3 回目の実施となります。

総合防災訓練は、13 時 30 分に発生した桜島の噴火及び震度 6 弱の地震に伴い、垂水市消防本部より負傷者の受け入れ要請が入るとの想定で訓練がスタート。災害対策本部を院内に設置し、被災患者の受入れ体制づくりを行いました。訓練では、搬送されてきた模擬患者 14 名に対しトリアージし、それぞれの患者に必要な検査・治療・処置が的確に行えるか確認しました。

垂水市で唯一の急性期病院である当院では、大規模災害発生時の地域の拠点病院として、災害への対応を真剣に考え着実に進めていきたいと考えています。



## 医療安全推進週間について

「医療安全推進週間」は、患者の安全を守るため、すべての医療関係者が協働して医療安全に取り組むことを目的として、厚生労働省が位置付けた期間です。当院では毎年、医療安全推進週間（2017年度は11月19日～11月25日）に職員より「医療安全推進標語」の募集・最優秀賞等の決定を行っています。今年度は、75作品の応募作品の中から1位（最優秀賞）1作品、2位（優秀賞）3作品、3位（優良賞）2作品が選ばれました。

順位	標語	部署
1位（最優秀賞）	指摘より 声掛けあおう チームの輪	栄養管理室
2位（優秀賞）	違うだろ！ その行動 マニュアル通り？	3階病棟
2位（優秀賞）	ゼロレベル 報告重ねて 事故防ぐ	外来
2位（優秀賞）	手をつなぐ 職場に人の和 無事故の輪	事務部
3位（優良賞）	迷ったら 確認しよう 何度でも	外来
3位（優良賞）	「失敗しないので」 その過信が 事故のもと	2階病棟

## 新任医師紹介



外科

きはら けんじ  
木原 研二

7月に赴任してきました。地域医療のお役に立てるよう精一杯がんばります。よろしくお願ひします。



眼科

うたつ けんすけ  
宇辰 賢祐

7月からお世話になっております。ようやく少し慣れてきたと思いますが、まだまだ至らないことが多く、ご迷惑をおかけしています。精一杯頑張りますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

## 1.動脈硬化症とは？

動脈硬化症とは、文字どおり「動脈がかたくなる」ことです。動脈がかたくなると、その特性であるしなやかさが失われるため、血液をうまく送り出せず、心臓に負担をかけてしまいます。また、動脈がかたくなると血管の内側がもろくなって粥腫（じゅくしゅ）ができ、血管の中がせまくなったり、詰まったり、粥腫がはがれて血液中をただよい細い血管を詰まらせたりします。ちょうど古い水道管が汚れて詰まったり、さびてはがれるのと同じ状態です。血管の内側がせまくなると必要な酸素、栄養がいきわたらず、臓器や組織が正しく機能しなくなります。さらに血管が詰まると臓器や組織に血液が流れず、壊死してしまったり、またかたくなることで、血管はもろくなり破れやすくなります。



## 2.動脈硬化症が進行すると？

動脈硬化症が進行するとどうなってしまうのでしょうか。心臓に大きな負担がかかるため、高血圧、心肥大、心不全などの心疾患につながります。また、血管が狭くなったり詰まったりすることで、心筋梗塞、狭心症、脳梗塞、下肢閉塞性動脈硬化症などを引き起こします。血管が破れると、クモ膜下出血など脳出血の危険もあります。たかが動脈硬化とあなどってはいけません。死につながる恐ろしい症状を引き起こす危険を抱えているのです。



## 3.注意が必要な人は？

人はみな、年齢を重ねると動脈硬化症になります。動脈硬化症はある種の老化現象とも言えるでしょう。しかし、同じ年齢であっても血管の状態には個人差があることから、年齢のほかに「高血圧」「高血糖」「脂質異常症」「高尿酸血症」「ストレス」「喫煙」などの生活習慣とのかかわりが考えられます。また、動脈硬化症の進行は「足の痛み」としてあらわれることが多いといわれています。最近、「メタボリック・シンドローム」という用語が話題になっていますが、これは内臓脂肪型肥満で高血圧・糖尿病・脂質異常症のうち2つ以上該当する状態をさし、動脈硬化症になる危険性を高めるとして注意が呼びかけられているものです。こうした生活習慣病を抱える人は動脈硬化症の進行が早いので、早期の検査が必要となります。ほかに、ストレスを抱えている、タバコを吸う、運動不足、足にしびれがあるという人も早めに医師に相談しましょう。



## 4.動脈硬化症の進行をおさえるには？

### ■適正な運動

ストレス解消をかねて適正な運動を習慣にしましょう。運動の目的は肥満の解消だけではありません。運動を継続的に行うことで、善玉コレステロールが増えることがわかっています。

### ■バランスのいい食事

食べ過ぎに注意し、栄養バランスのとれた食事をしましょう。野菜や海藻類のほか、いわしやさばなどDHA・EPAを多く含む青魚を多く摂取するように心がけましょう。

### ■薬物による治療

動脈硬化症の危険因子の改善、合併症予防のために、脂質異常症、高血圧、閉塞性動脈硬化症などの治療薬を服用することがあります

# イベント ～病院の話題～

## おはら祭り夜祭り



2017年11月2日に行われた、第66回おはら祭り夜まつりに、垂水中央病院と介護老人保健施設コスモス苑の職員が踊り連として参加しました。

夜祭りには、全体で87踊り連約8,000人の参加があったそうです。今回は、NHK大河ドラマ「西郷どん」に出演される役者の方々も参加され、例年以上に活気のある夜祭りとなりました。このおはら祭り夜まつりには、職員が毎年参加しており、恒例行事となっています。

## 合同忘年会



12月8日（金）に、ベイサイドホテルアザレアにて「垂水中央病院・介護老人保健施設コスモス苑合同忘年会」を開催しました。

最初に、来賓の方々より1年間の労をねぎらうあいさつを頂き、その後は、美味しい食事と職員による余興で大いに盛り上がりました。余興には9組の参加がありました。どの組も、仕事の合間の短い時間を利用して、一生懸命練習した成果を披露することができました。

## 予約受付時間のご案内

月～金曜日	土曜日
14:00～17:00	8:30～12:30

※当院では全診療科予約制です。

※当日の診療に関するご相談や当日の予約時間変更に関するご連絡は、8:30から受付けています。

## 垂水市立医療センター 垂水中央病院

〒891-2124

鹿児島県垂水市錦江町1番地140

TEL: 0994-32-5211 FAX: 0994-32-5722 (総務課)

0994-32-5230 (医事課)

【E-mail】 tarumizuhp@tarumizumh.jp

【URL】 <http://tarumizumh.jp>